

## はぐくむ

見学ツアー  
お徳感満載

例年に比べ2週間程度短い夏休みでした。この時期は来館する生徒はぐっと少なくなるので、司書にとつて研修会への参加や蔵書点検など、日ごろできないことをするチャンスでもあります。

やってくる人とは、はて？どんな方たちなのでしょう。

ところが、今年は新型コロナウイルスの影響で研修会は軒並み中止。生徒に手伝ってもらった蔵書点検も、感染の危険を考慮して中止にしました。それでも、普段とは違うお客様が連日やってきました。雷雨のように突然襲来する卒業生はともかくとして、夏休みにすみっコ図書館に

大小含めて年間30回くらいの見学があるすみっコ図書館ですが、他の学校図書館にはないユニークなイベントが「すみっコツアーズ」です。飯能市立図書館とすみっコ図書館、そして飯能市立博物館の三つの施設を、連続で見学できるのです。

市立図書館の見学では、関係者しか入れない図書館のバックヤードまで説明してもらえます。博物館では展示の解説のみならず、収蔵庫にある貴重な収蔵品まで学芸員さんが手に取っ

て解説してくれます。運が良いと、両館とも館長さん自らご案内していただけることも！

学校図書館と公共図書館、博物館、それぞれの魅力を一度に体験できて、すべて無料です。からお徳感満載です。もちろん、どこか一つの施設に申し込みをするだけで、3館すべての見学ができます。

すみっコ図書館が地域の公共施設と協働してはじめたこの仕組みには、職員の案内スキルを向上させる狙いもあります。職員誰もが見学者を案内できる力をつけるように努力することが、施設側にとつてもサービスの向上につながります。

8月は2件のツアーが開催されましたが、完全な受注開催です。参加した方の口コミやSNSでの紹介で新たな見学の申し込みがあると、その都度開催するこのツアーは誰でも参加できます。県内はもとより、関東近県、ときには全国各地から訪れてくださいる方まです。若者と触れ合う機会が少ない人にとっては、高校生がはしゃいでいるのを見たり、話したりするだけで元気をもらえるそうです。

私の大好きなバスツアーはいろいろできる「お徳感」がウリですが、このツアーは見学のお徳感に加え、初めて会った人や生徒との心のふれ合いという「お土産」があることが一番の魅力なのです。

県立飯能高校  
すみっコ図書館司書 湯川康宏